

在宅医療介護連携講演会

予約不要 無料

健やかに老いるために、今できること

自分や家族が病気になったときのことを考えたことはありますか? 誰がなっても不思議ではない病気に対して、今できることを考えてみましょう。

日時 7月15日(土) 14:30~16:00 (受付開始14:00から)

場所 淀川区民センター1階 大ホール

定員 100名 (当日先着順)

手話通訳
あり

粗品
あり

一部

認知症について



やすだ もりたか 医師 北大病院副院長

二部

骨粗鬆症について



のうだ しんや 医師 加納総合病院整形外科
整形外科部長

三部

脳卒中の予防や治療について



つじ ゆういちろう 医師 加納総合病院脳神経外科
脳卒中センター長

主催 淀川区在宅医療・介護連携推進会議／淀川区医師会オレンジネット連絡会／淀川区オレンジチーム
淀川区地域包括支援センター合同連絡会／大阪市淀川区社会福祉協議会 生活支援体制整備事業

共催 社会医療法人 協和会／北区医師会在宅医療・介護連携相談支援室

問合せ 事前：淀川区東部地域包括支援センター ☎6350-7310

当日：加納総合病院 地域連携室 (9:00~12:00) ☎6351-9810



淀川区住みます芸人

「はるかぜとともに」の
ハッピーハピネスおたより

2通目 こどもキラキラまつりに
行ってきました!



こんにちはっ! はるかぜとともにの
やすおです。5月28日、十三東公園で
こどもキラキラまつりが開催されましたね。我々もMCとして
参加させていただき、とっても楽しかったです! 子どもたちの
元気な姿に、こっちまで元気モリモリになっちゃいました!

やすおは白バイ体験をさせてもらいましたよ。帰りに、バ
ザーでいただいたカラフルなお魚の巾着がお気に入りです。
色使いがとってもキュート!

区役所職員の豆知識リレー

28人目

紙をごみとして
出す前に!



総務課
鬼塚協係員

区役所のごみ箱にも設置している資源化可能
(リサイクル可能)な紙類の分別ですが、紙マーク
がついているからといって、リサイクル可能とは
限りません。汚れた紙や紙コップ、粘着剤が付着
した紙等は、リサイクルに向かない紙になります。
燃えるごみとして処理をお願いします!

編集後記

淀川区役所のInstagramでもご
紹介しましたが、三国本町にあ
る正福寺で、幸福を呼ぶとされ
る「チュウキンレン」の花が咲い
ていました! 長く咲く花のような
ので、皆さんも一度訪ねてみて
はいかがでしょうか?
(広報担当:岸本)



▲皆さんにも幸福が訪れま
すように!

よどマガ! に広告を掲載しませんか?

発行部数122,300部! 区民の皆さんに親しまれている「よどマガ!」に広告を掲載しませんか? 区民や区内の事業所に広くアピールできるチャンスです!
お問合せは広告代理店の株式会社ウィットまで。 ☎072-668-3275

淀川区役所公式 Instagram

「あ、淀川区にもこんな景色あったんだ」まだみんなに知られていない、淀川区の魅力を教えてください。

yodogawa + watch
= yodogawatch

1. 淀川区内で写真を撮る
2. 「#yodogawatch」をつける
3. 撮影場所がわかるように投稿

投稿していただいた魅力的な一枚を、淀川区役所公式Instagramやよどマガ!誌面でご紹介します。buiyonnさん、ポストありがとうございました!



淀川区役所公式 Instagramはこちら



問合せ 政策企画課(広報)
5階51番 ☎6308-9404

今月の イベントピックアップ!

7月イベントカレンダー

6日(木)	ペアレントトレーニング講座申込開始 ▶6面
7日(金)	おやこ食育教室申込開始 ▶6面
15日(土)	在宅医療介護連携講演会 ▶18面
21日(金)	特設人権相談 ▶6面
23日(日)	日曜開庁日 ▶6面

8月イベントカレンダー

1日(火)	妊婦教室申込開始 ▶8面
18日(金)	夏休み 健康&食育フェスタ2023 ▶5面

水防団員大募集

淀川と神崎川の洪水から地域を守る活動をしている淀川右岸水防組合では、団員を募集しています。活動に応じて報酬等の支給があります。応募方法等詳細について、まずはお電話ください。

対象 区内在住・在勤の18歳以上の方
問合せ 淀川右岸水防事務組合
☎6302-8721



多加志の ところざし

淀川区長

おかもと たかし
岡本 多加志



淀川区版ネウボラの構築に向けて

淀川区役所では、毎年この時期にサマーレビューと称して、各種事業の検証や再構築に向けた議論を行いながら、来年度の予算要求に向けた準備を始めています。

今回、大きなテーマの一つが、妊娠期から中学生までの子どもたちへの切れ目のない支援を行う仕組み「淀川区版ネウボラ」の構築です。なお「ネウボラ」とはフィンランド語で『アドバイスをする場所』という意味ですが、ここでは子どもたちへの切れ目のない支援を意味する言葉として使用しています。

まず、体制整備として4月には淀川区役所で組織改編を行い、子育て支援を担当する部署と学校教育を担当する部署を統合しました。

次に、新たな課題、例えばコロナ禍において急増した不登校児童・生徒に対し、適切な支援を届けていく必要があ

ると考えています。

これまで、淀川区役所では、訪問型の病児保育の実施や、区内の保育所や幼稚園等からのヒアリングに基づき、課題のある子どもたちへアウトリーチの手法で福祉的な支援等を届ける事業、また、就学期の子どもたちへの学力、体力向上のための取組など、区独自の事業を展開してきました。今後、新たな課題にも積極的に対応していくとともに、学校やNPOなどとの連携強化や、区役所担当者間での情報共有を図るための仕組みづくりなど、引き続き「淀川区版ネウボラ」の構築に向けた取組を進めてまいります。

▶よどマガ!令和4年11月号もご確認ください。



広告

